

鉄砲洲神社 論語素読 解説

(平成 21 年 11 月 20 日)

八佾第三

7 子曰く、君子は争う所無し。必ずや射か。
揖讓して升起、下りて飲ましむ。其の争いや君子なり。

孔子が言いました。「人格の高い、いわゆる君子は、争うという事はまずない。ただ、弓だけは例外である。胸の前で両手を合わせてお辞儀をして堂に上り、射をして下りた時に、負けた方にお酒を飲ませる。こういう争い方は、君子らしくて非常に礼儀正しいし、非常に良い。」

学者の先生の解釈では、勝った方にお酒を飲ませるとい説もありますが、敗者に罰としてお酒を飲ませるとい解釈の方が圧倒的に多いようです。ですからお酒というものは昔から、神事に使ったり罰に使ったりおめでたい時に使ったり、実に臨機応変に使える良きものであるようです。

弓で勝っても負けても、お互いに礼儀正しく挨拶をしあって、勝者にも酒、敗者にも酒をつぐというように読めばよいと思います。

君子は争うところなしという部分で今の日本を考えると、国会の審議を見れば、君子でない者ばかりだと思います。君子であれば、争うことなくお互いに譲り合いながら審議が通って法案が出来ていくであろうと思うけれども、君子でない人ばかりが互いに角突き合っ争うだけです。如何に君子ではない人ばかりが今の国会議員なのだなど、こういう文章を見るとつくづく思わされます。

8 子夏問いて曰く、巧笑倩たり、美目盼たり、素以て絢を為すとは、何の謂いぞやと。子曰く、絵事は素を後にすと。曰く、礼は後か。子曰く、予を起す者なり。商や、始めて与に詩を言うべきのみと。

巧笑倩たり、美目盼たり、素以て絢を為す・・・これは『詩経』の中の「国風」という詩です。

子夏が孔子に質問をしました。「にこっとすると口元にえくぼが出来る。口元が実に愛嬌

があって良い。目元がはっきりして鮮やかである。黒い瞳と白い目がはっきり分かれて、きれいにお化粧が出来ている。これだけ美人であるのに、どうしてお化粧をするのでしょうか？」

孔子が答えました。「絵を書く時には、まず胡粉で地塗りをして、その後に色彩を施すものだ。」

子夏が言いました。「絵がそうであるならば人間も同じで、礼儀作法は心の後（地塗りをした後）に言うべきものですか。」

最初はまず地塗りをしなければだめだと言ったことに対して、子夏が、孔子が感嘆するような答えをしました。孔子はいつも、心の中に忠・信といった素晴らしい資質を持って、その上に礼を学びなさいと言っているのです。絵と礼は同じ工程を踏むものでしょうかと暗に聞いたわけです。

孔子が言いました。「私の心をゆり動かすのはお前だ。お前であれば、一緒に詩の意味について語り合える。そういう能力を持った人間だということが始めて分かった。お前は実に素晴らしい」

子夏は、「顔回は、一を聞いて十を知るけれども、私は一を聞いてせいぜい二か三しか分かりません」と自分で自分を批評しています。自分自身を含めて周りを見渡してみると、一を聞いて一を知ることもさえない出来ません。その半分でも見れば良いなと思っています。孔子のお弟子には、かなり素晴らしい人物ばかりがいたのだと感じます。

9 子曰く、夏の礼は吾能く之を言えども、杞 徴 するに足らざるなり。
殷の礼は吾能く之を言えども、宋 徴 するに足らざるなり。
文 献 足らざるが故なり。足らば 則 ち吾能く之を 徴 せん。

孔子が言いました。「夏王朝の礼式について私はよく分かっているけれども、夏の子孫の杞の国の素晴らしさを証明することは出来ない。殷王朝の礼式についても私は色々言えるけれども、後殷の子孫である宋の国までは、なかなか伝わっていない。今の時代は、記録もきちんと残っていないし、昔の事をよく知っている物知りもないから、私はなかなかそれを証明できない。もしそういったものが残っていれば、夏の礼とか殷の礼は素晴らしいということを実証してみせるのに・・・残念だ。」

文は、記録。献は、賢い人・物知りです。今、「文献」というと全部記録という意味になりますが、ここは意識して、文と献を分けて読むようにしました。

昨日の産経新聞の記事で、オリンピック招致に失敗した東京都知事の説明が、この文章とそっくりでした。

かつて日本は、オリンピックに何度も何度も挑戦したけれども、失敗している。その記録がきちんと残っていなかったから、私は今回、挑戦に失敗したのだ。オリンピックの開催地を決める際にも、裏技が大変飛び交った。それなりの手立てをしなかったが為に今回失敗したという記録が、少なくとも2回や3回分が残っていなければいけないのに、日本人はそこらへんの記録を残さないから困ったものだ。

・・・といった内容の記事が出ていました。

論語の文章は、現代に置き換えて眺めてみると味が出てまいります。

以上で本日の論語の解説を終了致します。有難うございました。